

実習を終えて

2月10日から1ヶ月間、佐渡総合病院で総合診療学の実習をさせていただきました。

主に循環器外来と新患外来で毎日問診をとり、指導医の先生の外来を見学し救急外来では初期対応を学ばせていただきました。初めての学外実習で不慣れなことも多く、病院スタッフの方にはご迷惑をおかけした部分もあったかと思いますがスタッフの皆様や医局の先生方が温かく迎えてくださり、おかげさまで非常に充実した時間を過ごすことができました。

大学病院とは異なり、市中病院ならではの多様な症例にたくさん触れることができたのは大きな学びになりました。また、研修医の先生方が主体的に診療を進め、日直の先生とともに次々と患者さんを診ていく姿を間近で見ることができ、自分も1年後にはあのように動けるようになりたいと強く感じました。病棟業務やカテーテル治療にも参加させていただき、地方医療を担う医師の働き方を体感できたことで、少しずつ医師の自覚が芽生えてきたように思います。

1カ月を通して、佐渡の方々の温かさにも触れる機会が多く、より一層佐渡という土地に愛着が湧きました。島唯一の総合病院として地域医療を支える先生方やスタッフの皆様の姿に胸を打たれ、将来は自分も新潟の医療を支える一員になりたいと強く思うようになりました。

この貴重な経験を今後の学びに活かし、今後もより一層努力していきたいと思えます。